

平成29年度教育委員会点検評価報告書

(平成28年度分)

雲南市教育委員会

目次

1. 平成28年度 教育委員会の活動状況

- (1) 雲南市が目指す教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) 平成28年度の新たな事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (3) 教育委員会の運営・活動・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

2. 点検評価に当たって

- (1) 点検評価の対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- (2) 点検評価の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

3. 平成28年度 教育委員会点検評価

- 目標 1 学校・家庭・地域（企業・NPO等を含む）・行政の協働を推進し、
社会全体の教育力を向上させる。・・・・・・・・・・ 6
- 目標 2 学力の向上を目指すとともに、学校を支援する体制を整備する。・・・・・・・・ 6
- 目標 3 保幼小中高の連携・協働による特色ある学校教育を推進する。・・・・・・・・ 7
- 目標 4 学校教育・社会教育の連携・協働により、「土曜日の充実」をキャ
リア教育の視点で取り組む。・・・・・・・・・・ 7
- 目標 5 「子ども政策局」、教育NPO法人「カタリバ」との協働により子どもや
家庭の支援の充実を図る。・・・・・・・・・・ 7
- 目標 6 安全・安心な教育環境の実現と充実した教育活動を支える環境を
整備する。・・・・・・・・・・ 8
- 目標 7 人権・同和教育、平和教育を推進する。・・・・・・・・・・ 8
- 目標 8 文化財・文化振興行政の充実と賑わいのあるまちづくり。・・・・・・・・ 8
- 目標 9 生涯スポーツの推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

1. 平成28年度 教育委員会の活動状況

(1) 雲南市が目指す教育

平成26年度に策定しました「第3次雲南市教育基本計画」では、雲南市が目指す「教育の基本目標」を継承し、次の3点を基本政策としています。

- ① 雲南市教育の推進体制の構築
- ② 「生きる力」を育てる学校教育の推進
- ③ 心豊かでたくましい人づくりをめざした社会教育の推進

この基本計画の2年目に当たる平成28年度の重点施策としては、次の9つを掲げ、各種の具体的事業に取り組みました。

- ① 学校・家庭・地域（企業・NPO等を含む）・行政の協働を推進し、社会全体の教育力を向上させる。
- ② 学力の向上を目指すとともに、学校を支援する体制を整備する。
- ③ 保幼小中高の連携・接続による特色ある学校教育を推進する。
- ④ 学校教育・社会教育の連携・協働により、「土曜日の充実」をキャリア教育の視点で取り組む。
- ⑤ 「子ども政策局」、教育NPO法人「カタリバ」との協働により、子どもや家庭の支援の充実を図る。
- ⑥ 安全・安心な教育環境の実現と充実した教育活動を支える環境を整備する。
- ⑦ 人権・同和教育、平和教育を推進する。
- ⑧ 文化財・文化振興行政の充実と賑わいのあるまちづくり
- ⑨ 生涯スポーツの推進

(2) 平成28年度の新たな事業

① 2名の「教育監」の配置

学校現場での授業づくりを中心とした教職員研修の充実や、授業力、教師力の向上を図るため、学校教育課内に2名の教育監を配置しました。

② 「キャリア教育推進室」の設置

今まで行ってきたキャリア教育及び社会教育と学校教育の連携・協働体制の一層の充実を図るために、社会教育課内に「キャリア教育推進室」を設け、コーディネート機能高め、保・幼・小・中・高の一貫した質の高い教育を推進しました。

- ③ コミュニティ・スクール導入促進事業による次世代の学校創生への試行
平成31年度の市内全校区コミュニティ・スクール化を目指すために、三刀屋、海潮、加茂、吉田、掛合の各学校区をコミュニティ・スクール導入促進事業の指定校区としました。
- ④ UNNAN 学びサポート事業
小学生の放課後学習の場を設定し、自主的な家庭学習の充実へつながる指導体制の確立を図るために、全中学校区にタブレット端末を整備し、ICTを活用した放課後学習の充実を図りました。
- ⑤ 小学校普通教室の空調設備の設置による学習環境の改善
平成27年度までに市内中学校7校の普通教室に空調設備を整備したのにつき、市内小学校15校の普通教室に空調設備工事を実施し、市内小中学校22校すべての普通教室に空調設備を整備しました。
- ⑥ 全国高校総体ボート競技大会の円滑な運営
7月28日よりさくらおろち湖ボート競技場で開催された全国高校総体ボート競技大会の成功に向け、関係機関、地元高校生が一体となって大会準備、運営を行いました。

(3) 教育委員会の運営・活動

- ① 総合教育会議
平成28年度は、2回開催し、次のことを協議しました。
 - ・第1回 市長と教育委員が吉田小学校で取り組まれている英語教育を視察訪問し、雲南省の「小中一貫教育」及び「地方創生」についてその展望や課題について意見交換を行いました。
 - ・第2回 特別支援教育について理解を深めるべく意見交換を行いました。また、支援体制の充実についても協議しました。
- ② 定例会、懇談会、臨時会
資料のとおり実施しました。
- ③ 学校訪問・各種行事への参加
 - ・学校訪問
本年度の学校訪問も、小中一貫を目指した小中連携をテーマとして行いました。英語を通しての小中一貫教育と、算数改善推進事業公開授業、文部科学省指定人権教育研究発表会や新規の子ども園への訪問も行いました。
 - ・各種行事への参加
成人式等各種式典、行事へ参加しました。

④ 視察研修

本年度の教育委員会の視察研修は、佐賀県武雄市教育委員会に伺い、「貧困対策」や、「ICT 教育」の授業など先進的な取組を視察しました。

2. 点検評価に当たって

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、平成20年度から毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理執行状況について、点検及び評価を行い、その結果を報告書として議会に提出するとともに、市民の皆様へ公表することとされています。

(1) 点検評価の対象

今回の点検評価は、平成28年度の重点施策に基づき実施した各種事務事業を対象としました。

(2) 点検評価の方法

事業ごとの「事務事業マネジメントシート」を利用し、教育委員会で、必要性、効率性、有効性、公平性等の様々な観点から分析し、課題や問題点、今後の改善点について点検評価することとしました。

教育委員会の活動					
(1) 会議・活動の開催状況					
項目	単位	平成28年度	平成27年度	増減	事業内容
定例会	回	12	12	0	毎月1回開催
臨時会	回	4	4	0	必要に応じ開催
懇談会	回	5	5	0	必要に応じ開催
傍聴者数	人	0	0	0	
総合教育会議	回	2	2	0	
視察研修	回	1	1	0	必要に応じ実施
(2) 審議の状況					
項目	単位	平成28年度	平成27年度	増減	事業内容
定例会審議案件	件	105	102	3	
報告事項	件	19	33	▲ 14	
承認事項	件	5	4	1	
審議事項	件	36	34	2	
指定事項	件	2	0	2	
教育長報告	件	43	31	12	
臨時会審議案件	件	4	4	0	
懇談会協議件数	件	7	5	2	
(3) 定例会・臨時会・懇談会以外の活動状況					
項目	単位	平成28年度	平成27年度	増減	事業内容
学校訪問	件	11	16	▲ 5	

3. 平成 28 年度 教育委員会点検評価

計画した事業は、事務事業マネジメントシートのとおりすべて実施しました。達成状況を踏まえ、今後の方向性を視野にいて継続、拡充するよう努めます。

目標 1 学校・家庭・地域（企業・NPO 等を含む）・行政の協働を推進し、社会全体の教育力を向上させる。

- 地域の子どもを育てようと活動している市民は 25%程度ですが、地域コーディネーターや地域自主組織との関わりにより、ふるさと教育の充実を図りました。
- 教育フェスタについては、学社連携による総合的な教育施策の成果発表の場としてだけでなく、社会全体の教育力向上というねらい達成の視点から、テーマや協働する対象について今後も模索し、参加者だれもが、テーマについて自ら考え、参加したことの良いを実感し、今後の生き方につながるようなものとなることが求められます。
- コミュニティスクール導入事業は、段階的に導入を進めていく中で、目指す子ども像の共有、機能する学校運営協議会の設置や学校支援地域本部との関連等について、今後さらに保護者や地域住民の理解と協力が必要となります。丁寧な説明と議論の場の設定や広報活動が求められます。

目標 2 学力の向上を目指すとともに、学校を支援する体制を整備する。

- 高い指導力を持つ外部人材の活用により、教職員の資質向上に向けた研修や、児童生徒の習熟度向上を目的とした授業が行われ、現場の教員のアンケートからは肯定的な評価を多く得ることができました。
- 校長協議会補助金については、校長の学校経営方針に基づき、学校独自の取組を促進するために事業を継続するのが望ましいと考えます。事業提案を審査して配分する方法を活用し、効果的な事業の提案・実施が望まれます。
- スーパーティーチャー配置事業については、県全体で予算化した取組が望まれるが、効果も上がっており、継続した実施が望まれます。
- 早期英語教育は近隣諸国でも実施されており、必要性が高いと考えます。吉田中学校区での取組の成果を市内各校に広げ、担任を中心とした英語授業の充実が望まれます。AET の配置は継続し、児童英検等についても検討を進められることを望みます。

一方、英語力を支える国語力についても指導の充実が望まれます。

- 学校図書活動充実事業については、読書活動による国語力の向上という観点からも、有資格者の増員、無資格者の資質の向上が望まれます。また、学校司書の配置によって、図書室の活用が進んでいることから、市内の学校図書活動の水準が同一になるように全校配置が望まれます。

目標3 保幼小中高の連携・協働による特色ある学校教育を推進する。

- キャリア教育の推進により、自分には良いところがあると思う生徒の割合や、将来叶えてみたい夢がある生徒の割合が平成27年度より増加しています。
- 各事業を有機的につなぎ、本市の特色ある学校教育や保幼小中高一貫した「夢発見プログラム」に基づくキャリア教育を一層進めていきたいと考えます。個々の事業については、成果発表の場の創設や教職員の指導に活かす取組の工夫など内容の充実及び事業の周知や参加者増の方策などについて検討していく必要があります。

目標4 学校教育・社会教育の連携・協働により、「土曜日の充実」をキャリア教育の視点で取り組む。

- 土曜学習「中高校生の幸雲南塾」に年間を通して取り組み、雲南の魅力発見、発信など“ふるさと雲南”に誇りを持てるキャリア教育に取り組みました。
- 土曜日・放課後を地域における「総合的な学習の時間」と位置付けていますが、今後の地域づくりには、児童生徒の柔軟な思考や行動力が必要と考えます。この視点からも、場の設定等の支援が求められます。
- 土曜日の教育支援事業については、児童生徒の興味関心を喚起し、自発的な参加意欲が増すようなプログラムの開発が求められます。

目標5 「子ども政策局」、教育NPO法人「カタリバ」との協働により、子どもや家庭の支援の充実を図る。

- 認定NPO法人「カタリバ」との業務委託による教育支援センターは保護者や学校から評価する声をいただいています。
- 平成27年度に設置された「子ども政策局」、及び教育NPO法人「カタリバ」との協働は、いずれも順調に取組が進められていると伺えます。「子ども家庭支援センター」

についても、関係機関との連携も進み相談件数も500件を超えている状況から、保健・福祉・教育の総合相談窓口として、早急に「子育ての悩みは、なんでもまずは『子ども家庭支援センター』に」となるよう期待します。専門職員等の人員増を含め、迅速な対応や連携のできる組織及び体制の充実が望まれます。

目標6 安全・安心な教育環境の実現と充実した教育活動を支える環境を整備する。

- 平成28年度に全ての小学校の普通教室にエアコンを設置した結果、市内の小中学校22校の普通教室へのエアコン設置を完了しました。今後も学校施設の修繕・整備の充実や学校給食の質の維持向上など、子どもの安全・安心を前提とした施設の計画的な整備が望まれます。併せて、エアコンが設置された校舎の夏季休業中における活用のあり方についても検討が必要と考えます。

目標7 人権・同和教育、平和教育を推進する。

- 定例公開講座（6回）、同和問題地域講座（5回）など、地域での研修を年間を通して開催し、広く人権について学び、考える機会を提供できました。
- 事業の継続が、目標達成への重要な一歩となります。実態を把握し、成果や課題を踏まえ、研修内容や方法の充実を図り、子どもも大人も人としての尊厳が守られるよう地に着いた取組を推進していくことが望まれます。また、「新永井隆記念館」建設の基本構想策定を機に、市民に「平和を」の思想がさらに浸透し、それを市内外にも発信していくことが使命と考えます。
- 「永井隆平和賞」については、今後の方向性を検討すべき時期に来ていると考えます。平和都市宣言をしている本市にふさわしい式典や学校での平和学習の在り方など、持続可能な取組の検討が求められます。

目標8 文化財・文化振興行政の充実と賑わいのあるまちづくり。

- 古代出雲王国加茂岩倉まつりや、銅鐸出土20周年記念イベントを実施し、文化財を素材とした文化財愛護意識の高揚を図りました。
- 今後も地域の文化を大切にすることを期待します。特に次世代を担う子ども達には、文化財を大切に、ふるさとを誇りに思う気持ちを育むことが重要と考えます。

目標9 生涯スポーツの推進

- 幅広い世代において、各自の興味関心や競技レベルに合わせて取り組める総合型地域スポーツクラブでの活動推進を図りました。
- 市民のスポーツ意識や施設利用の状況などの実態を把握し、交流活動の充実など事業内容の工夫やスポーツ環境の整備を進めることによって、生涯スポーツ推進に資する事業となることが望まれます。